ＪＲ東海労ニュース

No. 875
2006年11月17日
ＪＲ東海労働組合

税金泥棒？

われらが都知事がこれでよいのか！
大口をたたく前にいさぎよく辞任すべき！

2006年(平成18年)11月17日(16日発行)　日刊ゲンダイ

とうとう全面バクロされた

石原都知事 金満外遊癖

総額2億4000万円

夫人同伴 非常識 豪華2100万円ツアーも

石原慎太郎都知事（74）が「視察」と称して海外で豪遊し、公費をペラポーにムダ遣いしていたことが共産党都議団の調査で分かった。夫人の旅費まで公費で賄っていたからメチャクチャだ。

石が典子夫人

千原知事の海外豪遊は99年の就任以来19回、神になるのも当然。その豪華さにほぼ絶句させられる。以下、代表例を見てみよう。

●ガラパゴス諸島（11日間、01年6月）
原知事は980万～3570万円と「エコ・ツーリズム」な破格の経費がかかっていた。バカ高い経費を使ってのクルージング。さらに、2068万円もかけてホテル並みの設備を備えた大型クルーザーで4日間の遊覧を楽しんだ。パルコニー付きの最高級の船室の宿泊費は52万4000円ナリ。

●ワシントンD.C.（7日間、01年9月）
初日の宿泊費はナント26万円の最高記録を樹立。都の条例違反である。6倍だが、それ以露も1日内に、夫人同伴でグランドキャニオン、レッドウッド公園をそれぞれ2日間視察。総経費210万円かけてやったとといえば、観光と夕食会、昼食会、レセプションのオンパレードだった。

●米レッドウッド国立公園（10日間、04年6月）
自然保護を徹底なら、宿泊費13万円の部屋に連泊し、同行した典子夫人もウッド公園をそれぞれ2日間視察。総経費210万円かけてやったとといえば、観光と夕食会、昼食会、レセプションのオンパレードだった。

一族が議員税金を使う気なのか

●ロンドン・マン島（7日間、06年5月）
オリンピック招致方策調査が主な目的だったが、オリンピック担当者との会談はたった47分間。94万円もかけたヘリコプター視察30分と合わせても、わずか80分とほとんど調査をしていなかった。それなのに、かかった費用は3267万円。完全に感覚がズレてしまっている。

「石原知事はいつも豪華なファーストクラスで出張するため、船舶運賃は米国の往復で一人当たり100万～140万円前後。ホテルも一泊100万～170万円もかかっています。現地交通費も超高級車を借りるため、欧米の場合、1回当たり100万～180万円。リムジンに乗ったときは6日間で126万円も払っている。ホテルも一泊いくらの世話になっていて、ホテルのブラックスルー金ドロボーではないか。

共産党都議団の調査資料

そもそも、首相のように外交が必要ないのに、都知事がこんなに頻繁に夫人同伴で海外へ行く必要があるのか。しかも、これら豪華ツアーに費やした税金は、判明しているだけでも2億4000万円以上。それでなくても政治家一家でセーフブ税金の世話になっていて、生活はナンの不自由もないはず。これは悪質な税金ドロボーではないか。

関係者

日頃から言いたい放題の石原慎太郎東京都知事。ついにその本質が暴露された。児童の自殺問題などへっちゃら。彼の関心事はオリンピックとカジノ？もうこれ以上彼に権力を持たせるのはどうか？東京都民はまじめに考えよう！

クルーザー一日貸し切り、宿泊費は条例の6、6倍、典子婦人も常に同伴、飛行機は常にファーストクラスで総額２億４千万円も税金を使った。（『日刊ゲンダイより』）